

現代の 書写

平成28年度版 中学校書写教科書

編集の
趣旨と特色



この資料は、平成28年度用中学校教科書の内容解説資料として、
一般社団法人教科書協会「教科書宣伝行動基準」に則って作成しております。

「考える書写」

自分の文字が変わっていく喜びを感じてほしい。

平成28年度版『現代の書写』は、

自らの文字に対する課題に

気づき、考えるプロセスを

大切にします。



平成28年度版『現代の書写』が大切にしたこと

① 基礎基本の定着

文字の書き方の基礎基本に気づき、らせんに学びを積み上げることと習得します。他の文字を書く場面でも活用できるようになります。

② 日常に生きる行書の力

行書を日常生活の場面で捉え、ふだんの文字を読みやすく速く書くための行書の基礎基本を理解・習得することができます。

③ コミュニケーション

としての書写の力

書写をコミュニケーションの観点で捉え、相手・場面を考えた効果的な文字の書き方を身につけることができます。

④ 伝統的な

文字文化の継承

伝統的な文字文化に親しみ、文字への興味・関心が育ちます。

人と環境にやさしい教科書づくり

- すべての生徒にとって学びやすいように、ユニバーサルデザインに取り組んでいます。
- 環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙と植物油インキを使用しています。

1 基礎基本の定着

文字の書き方の基礎基本に気づき、
 らせん的に学びを積み上げることによって習得します。
 他の文字を書く場面でも活用できるようにします。

1 基礎基本の定着

標準教材は、自ら考えることからスタートする
 構成になっています。

教材名で、学習目標を確かめます。

問いかけからスタートして、
 正しく整えて書くための
 基礎基本を考えます。

発見した基礎基本を、
 教室全体で確認します。

考える。

生 生 生



グループ話し
 合います。

生

① 画の方向
 三つの横画が平行に
 なるように書く。

② 画と画の間隔
 三つの横画が等間隔
 になるように書く。

【3】点画の組み立て方を確かめよう
 どの点画をどのように直したら、
 整った文字になるでしょうか。

書いて確かめる。身につける。

春光

春光

① 文字の中心
 ② 画と画の間隔
 ③ 画の方向
 を意識して書くこと。



筆記

禾 田

「大きく書いて細部を確認できる」
 「穂先の弾力を生かして、筆使いを確認できる」
 という毛筆の利点を生かして、
 基礎基本を体感します。

硬筆で書いて、
 ふだんの文字の
 向上につなげます。

★ 点画の組み立て方を
 意識して書けましたか。

P.10-11(1年)

書き方の基本はどうなっていたかな……

2 硬筆で定着

硬筆で繰り返し書いて確認し、
 技能の習得をより確かなものにします。

硬筆で確かめよう

● 点画の組み立て方
 ① 点画の組み立て方
 ② 点画の組み立て方
 ③ 点画の組み立て方
 ④ 点画の組み立て方
 ⑤ 点画の組み立て方
 ⑥ 点画の組み立て方
 ⑦ 点画の組み立て方
 ⑧ 点画の組み立て方
 ⑨ 点画の組み立て方
 ⑩ 点画の組み立て方
 ⑪ 点画の組み立て方
 ⑫ 点画の組み立て方
 ⑬ 点画の組み立て方
 ⑭ 点画の組み立て方
 ⑮ 点画の組み立て方
 ⑯ 点画の組み立て方
 ⑰ 点画の組み立て方
 ⑱ 点画の組み立て方
 ⑲ 点画の組み立て方
 ⑳ 点画の組み立て方
 ㉑ 点画の組み立て方
 ㉒ 点画の組み立て方
 ㉓ 点画の組み立て方
 ㉔ 点画の組み立て方
 ㉕ 点画の組み立て方
 ㉖ 点画の組み立て方
 ㉗ 点画の組み立て方
 ㉘ 点画の組み立て方
 ㉙ 点画の組み立て方
 ㉚ 点画の組み立て方
 ㉛ 点画の組み立て方
 ㉜ 点画の組み立て方
 ㉝ 点画の組み立て方
 ㉞ 点画の組み立て方
 ㉟ 点画の組み立て方
 ㊱ 点画の組み立て方
 ㊲ 点画の組み立て方
 ㊳ 点画の組み立て方
 ㊴ 点画の組み立て方
 ㊵ 点画の組み立て方
 ㊶ 点画の組み立て方
 ㊷ 点画の組み立て方
 ㊸ 点画の組み立て方
 ㊹ 点画の組み立て方
 ㊺ 点画の組み立て方
 ㊻ 点画の組み立て方
 ㊼ 点画の組み立て方
 ㊽ 点画の組み立て方
 ㊾ 点画の組み立て方
 ㊿ 点画の組み立て方

P.14-15(1年)

3 生活に生かす

他教科や学校行事などの
 場面を設定して書き、
 生活実感とともに自分の
 文字の向上を確かめます。

2 生活に生かそう
 行事の目標を書こう
 みんなで
 声を
 出し合おう!!
 田中充人
 ワークシート例
 球技大会優勝!

P.26-27(1年)

2 日常に生きる行書の力

行書を日常生活の場面で捉え、
ふだんの文字を読みやすく速く書くための
行書の基礎基本を理解・習得することができます。

1 見通しをもてる出会い

硬筆で書かれた行書仮名交じり文を見て味わい、
中学三年間の行書学習の見通しをもちます。



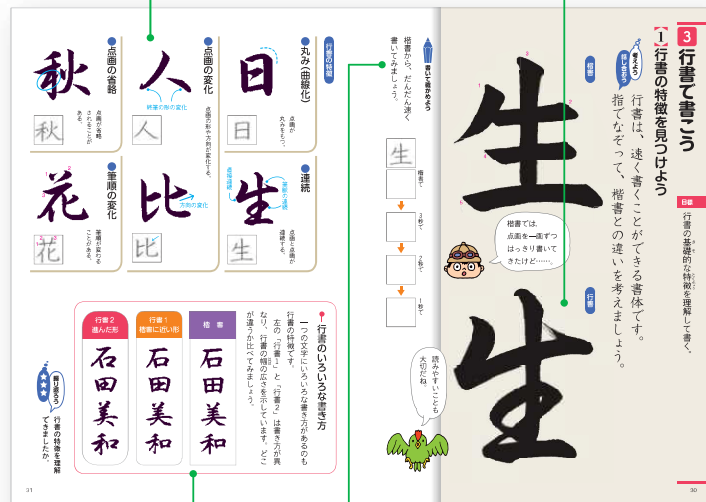
P.28-29

2 行書への多角的なアプローチ

行書の第一教材では、さまざまな観点から
行書のよさに気づきます。

①行書単元の最初の毛筆文字は、
指でなぞって行書のリズム・
スピードを体感します。

③行書の技能を、5つの
特徴として学びます。



P.30-31(1年)

行書の特徴を捉えやすい
穏健中正な書風の字形例で、
行書の基礎基本を確実に
身につけます。

②速さだけを意識して書いてみることで、
読みやすく速く書くことができる行書
を学ぶ意味を理解します。

④楷書とは異なり、
行書の書き方は多様
であることを知ります。

5 生活に生かす

生活実感とともに自分の文字の
向上を確かめます。

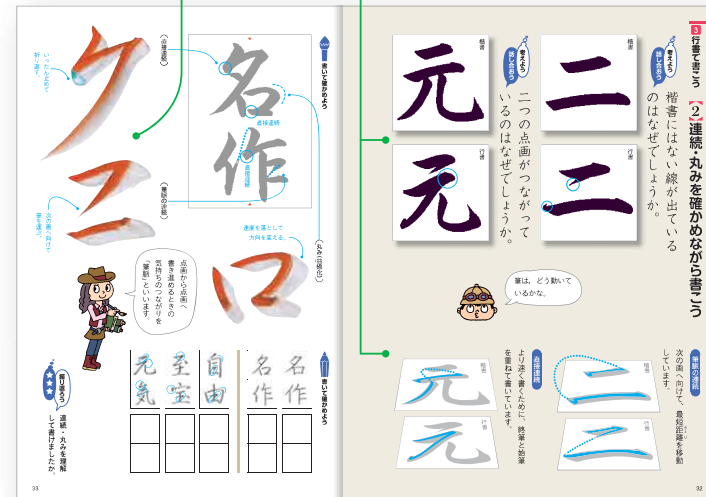


P.40-41(1年)

3 形と動きの確かな理解

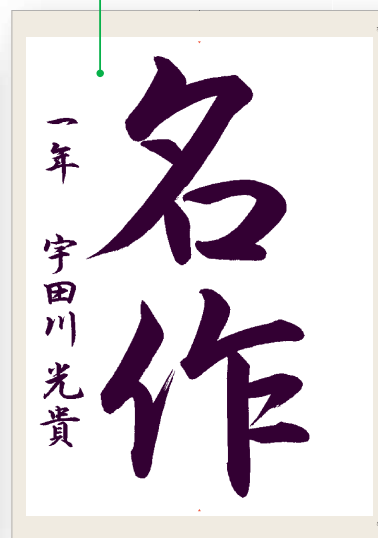
楷書と比較しながら、
行書の特徴を形・動きの
両面から捉えます。

穂先の位置を色で示した図で、
筆使いを確かめます。



P.32-33(1年)

4 学びやすい書風



P.34-35(1年)

3 コミュニケーションとしての書写の力

書写をコミュニケーションの観点で捉え、相手・場面を考えた効果的な文字の書き方を身につけることができます。

教科書巻頭

相手・場面を考えて書く力を、書写の力として捉えます。



P.02-03

第二学年

読み手や目的、状況に合わせた書体の使い分けを学びます。



P.62-63(2年)

第三学年

身のまわりの文字から効果的な書き方の工夫を見つける方法を学びます。



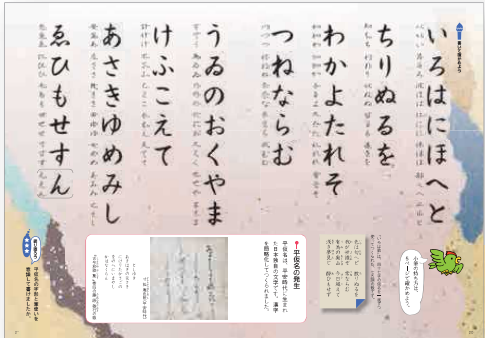
P.70(3年)

4 伝統的な文字文化

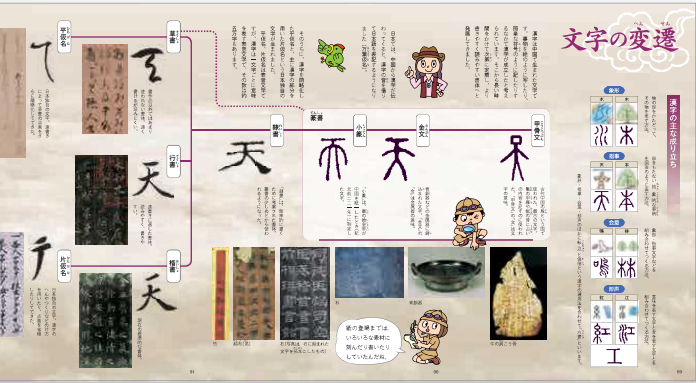
の継承

伝統的な文字文化に親しみ、文字への興味・関心が育ちます。

いろは歌



P.20-21(1年)



文字の変遷(漢字の成り立ち/主な書体とその発生/文房四宝/進化する筆記具)



「文化としての『書く』」(年賀状, 書き初め) / 「書の名手たち」(欧陽詢, 空海など)



P.89-92(資料編)

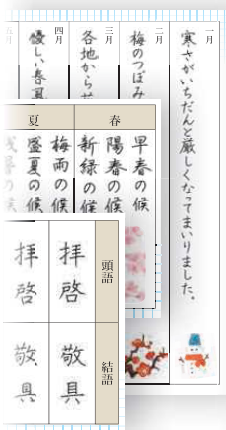
資料編

日常の書式 社会に出てからも役に立つ、さまざまな書式の例を一覧できます。



P.78-79(資料編)

◆漢字表 すべての常用漢字を、楷書と行書で示しました。



P.80-81(資料編)

①小学校で学習した漢字

常用漢字のうち、小学校で学習



◆漢字表 楷書と行書で示しました。



P.93~(資料編)

單元名					
教材名					
自分の文字や書き方をよりよくするために 望ましい姿勢と筆記具の持ち方					
第一学年					
1 楷書で書こう					
1 文字の整え方を確かめよう					
2 筆使いを確かめよう					
3 点画の組み立て方を確かめよう					
4 部分の組み立て方を確かめよう					
5 学習のまとめ					
筆順の原則と意義					
漢字のさまざまな書き方・活字と手書き文字					
6 仮名の字形と筆使いを確かめよう					
平仮名の発生					
7 文や文章の整え方を確かめよう					
8 学習のまとめ					
横書きの行のそろえ方・数字とアルファベットの書き方					
2 生活に生かそう					
新しい書体との出会い					
行事の目標を書こう					
3 行書で書こう					
1 行書の特徴を見つけよう					
行書のいろいろな書き方					
2 連続・丸みを確かめながら書こう					
3 点画の変化を確かめながら書こう					
4 学習のまとめ					
文化としての「書く」―年賀状と書き初め					
4 生活に生かそう					
本を紹介しよう					
書いたもので交流しよう					
書き初め					
85 88					
アイ					
2					
第二学年					
5 行書を使いこなそう					
1 行書の特徴と筆使いを確かめよう					
2 省略・筆順の変化を確かめながら書こう					
3 学習のまとめ					
4 行書に調和する仮名の特徴を見つけよう					
5 文や文章の整え方を確かめよう					
6 学習のまとめ					
文章全体を速く書くために					
6 生活に生かそう					
手紙を書こう					
7 書体を使い分けよう					
1 生活の場面と書体について考えよう					
2 学習のまとめ					
8 生活に生かそう					
座右の銘を書こう					
発展					
書き初め					
109 112					
アイ					
2					
第三学年					
9 効果的に書こう					
1 身のまわりの文字の工夫を見つけよう					
2 学習のまとめ					
10 生活に生かそう					
卒業記念冊子を作ろう					
三年間で学んだ書写技能					
書き初め					
113 116					
ア					
3					
資料編					
日常の書式					
1 便箋と封筒の書き方・時候の挨拶など					
2 荷物の送り状・のし袋・願書の書き方					
3 掲示物の書き方					
4 ノート・原稿用紙の書き方					
文字の変遷・文房四宝					
楷書・行書一覧表					
1 小学校で学習した漢字					
2 中学校で学習する漢字					
自分の文字					
89 92					
適時					
巻末					
100 108					
93 100					
ページ					
指導事項					
通時					
時数					

[illegible]

すべての生徒にとって学びやすいように、ユニバーサルデザインに取り組んでいます。

1 カラーユニバーサルデザイン

マーク類には、色覚タイプによる見え方の差が少ない青を採用しました。

2 特別支援教育

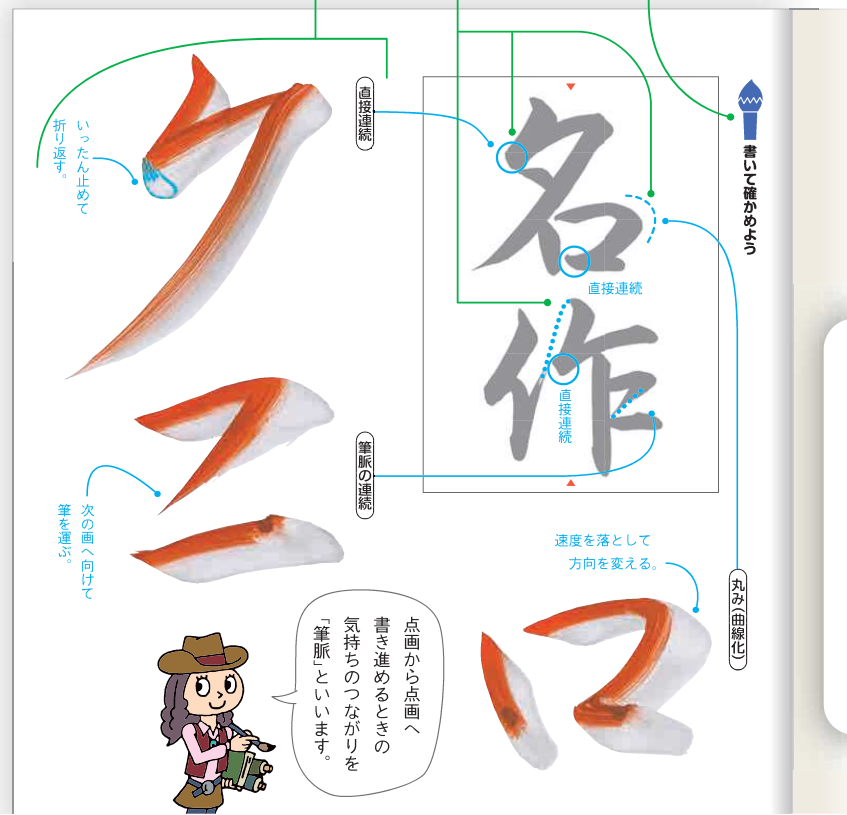
直観的に学びの要点を捉えられるよう、工夫しました。

- マーク類は、意味によって形を変える。
- 文字による説明だけでなく、わかりやすい図を示す。

3 拡大教科書

弱視の生徒たちの学習上の負担を減らすために、文字の大きさや書体、絵・写真などに配慮した、よりよい拡大教科書を作成します。

P.33



環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙と植物油インキを使用しています。

指導と学習を的確にサポートします。

学習指導書

1 指導者用資料類

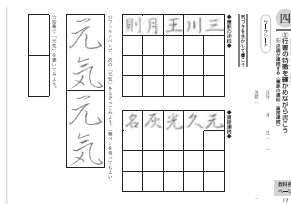
- 学習指導書
- 年間指導・評価計画案

2 授業で役立つ資料類

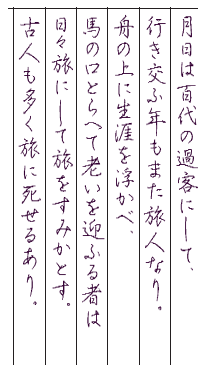
- 毛筆原寸大字形例・ワークシート
- 硬筆ワークシート
- 振り返りシート
- 補充用字形例集(毛筆・硬筆)



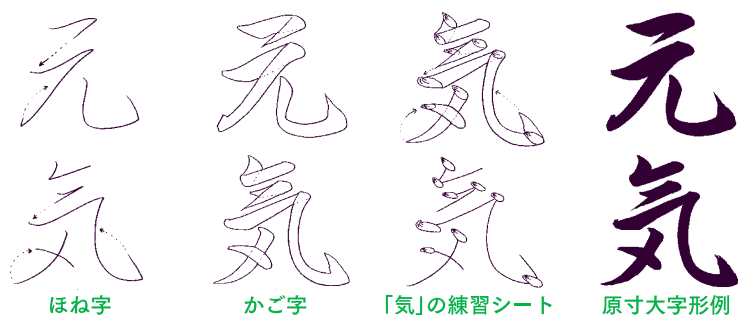
振り返りシート



硬筆ワークシート



補充用字形例



ほね字

かご字

「気」の練習シート

原寸大字形例

※学習指導書は現在企画中のため、イメージは現行版のものです。

指導者用 デジタルテキスト



※デジタルテキストは現在企画中のため、機能や画面デザイン等は製品版と異なることがあります。また、動画イメージは現行版のものです。

- 教科書をそのまま再現！
- 簡単に紙面拡大！
- 動画も豊富に収録！



CoNETS 版
デジタル教科書

三省堂は、CoNETS プラットフォームを通じてデジタル教科書を提供してまいります。

CoNETSの特長

1. CoNETSビューア・各社共通の操作性
2. 教科をつなぐCoNETSリンク
3. 先生と生徒、生徒と生徒がつながる端末間通信
4. 作業状態をそのまま保存できるスナップショット
5. オリジナルの教科書や教材が作成できるエディター

観点		内容の特色／具体例
教育基本法・学校教育法への対応	○教育基本法第二条～五号に示された教育の目標に配慮して編集されている。	
	一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	●知識と教養・真理を求める態度を育む教材がある。(例 「活字と手書き文字」(p.17)、「平仮名の発生」(p.20)、漢字表(p.93)、「自分の文字」(巻末)) ※漢字表は、小学校配当漢字を含むすべての常用漢字を楷書と行書で掲載し、小学校で学習した漢字の定着に配慮している。 ●豊かな情操・道徳心を育む毛筆硬筆字形例がある。(例 「夏めく空」(p.23)、「おはよう」「ありがとう」(p.19)、「友達の輪を広げる」(p.22)、「みんなで声を出し合う」(p.26)) ●健やかな身体育成に配慮している。(例 文字を書くときの姿勢・執筆の丁寧な図解(p.4-6)、球技大会(p.26)、マラソン(p.71)を題材にした例示)
	二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	●自分の言葉で書く活動があり、自主自律の精神の涵養を促している。(例 「生活に生かそう」(p.26,40,60,66,74)) ●勤労を重んずる態度を育む教材がある。(例 職場体験学習のお礼状(p.60)、文房四宝をつくる人々の紹介(p.92))
	三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	●正義や敬愛について考えを促す教材がある。(例 やなせたかし氏の正義についての言葉(p.56)、「敬意をみんなに。」(p.66)) ●協力の態度を養うことができる教材をそろえている。(例 「考えよう・話し合おう」(p.8,10,12ほか多数)、書いたものを教室で交流する教材(p.42))
	四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	●生命・自然・環境を尊重する態度を養うことばを字形例に用いている。(例 「輝く生命」(p.85書き初め)、「たった一秒生きるためにいつだって命がけ」といった文言を含む詩(p.28)、「自然を楽しむ」(p.57)、環境保全ポスター(p.71))
学習指導要領の趣旨への対応	五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	●我が国固有の文字である平仮名の成り立ちや(p.20)、年賀状や書き初めといった書く習わし(p.39)を丁寧に扱っている。 ●書字文化の伝統を丁寧に扱っている。(例 「文字の変遷」(p.89)、「書の名手たち」(p.68)) ●他国への興味関心や平和を願う態度を育む素材を扱っている。(例 「平和の鐘」(p.112書き初め)、他国のIT実業家の手書き文字のエピソード(巻末)、帰国子女のものの見方を示したメモ(p.71))
	○読書活動の促進に配慮して編集されている。	●読書活動を促進する教材がある。(例 「本を紹介しよう」(p.40)、読書をテーマにしたディスカッションのメモ(p.65)、本のしおり(p.66)などの例示)
	○国語科をはじめとする各教科等の学習場面や社会生活における言語活動に役立つ。	●巻頭教材で、書写の学習が学習場面・社会生活に役立つよう、学んだことを自分のふだんの文字に取り入れることの大切さや、相手や目的・場面を考えて書くことの大切さを示している。(「自分の文字や書き方をよりよくするために」(p.2-3)) ●他教科の内容や学校行事などを題材にした字形例や言語活動を扱っている。(例 国語科(p.40,52,59,64,65,84)、理科(p.25)、社会科(p.84)、全教科(p.38)、球技大会(p.26)、職場体験学習(p.60,62)、合唱コンクール(p.72)、卒業記念冊子(p.74)) ●手紙の書き方について、便箋・封筒の縦書きと横書き、葉書、時候の挨拶の文例などを閲覧しやすいようにまとめて掲載しており、社会生活で役に立つよう工夫している。(p.78,80)
	○我が国の伝統的な文字文化やこれからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれに親しむ態度を育成する。	●巻頭教材で、日常的な文字(黒板にチョークで書かれた文字、生徒が書いた文字)やさまざまな書字場面を示し、また、活字と手書き文字の違いも見比べられる形で示しており、身のまわりの文字や効果的な書き方への意識をもって書写の学習に臨めるよう工夫している。(「自分の文字や書き方をよりよくするために」(p.2-3)) ●身のまわりから文字を見つけてくる活動が設定されている。(例 「書体を使い分けよう」(p.62)、「効果的に書こう」(p.70)) ●身のまわりの文字から学んだ工夫を生かして、実際に効果を考えてポスターを書く活動が設定されている。(例 「効果的に書こう学習のまとめ」(p.72)) ●電子機器を使って書くことについても例示し、現代の文字文化の認識を育成するよう配慮している。(例 電子メールの例(p.71)、パソコンを使った文書の例(p.73))
	○小学校書写の学びを振り返る教材を提示している。	●文字を書くときの姿勢・執筆の基礎基本を、写真と解説で丁寧に示している。(例 姿勢と構え方、大筆小筆の持ち方、鉛筆の持ち方、用具の置き方、片づけなど(p.4-6)) ●9つの基本点画の筆使いを、朱墨を使った図を用いて丁寧に示している。(例 「筆使いを確かめよう」(p.9)) ●小学校で学習した漢字を例に、気をつけたい筆順の漢字を筆順数字を付けて示している。(例 「筆順の原則と意義」(p.15))
学習指導要領の各事項との対照表はp.10-11にあります。	○高等学校芸術科書道への発展性を見通した教材を提示している。	●発展教材として欧陽詢や空海、小野道風の作品を掲載している。(「書の名手たち」(p.68)) ●連綿の理解への布石となるコラムを扱っている。(「文章全体を速く書くために」(p.59)) ●仮名文字の背景に料紙を使っている。(いろは歌(p.20))
	★学習指導要領の各事項との対照表はp.10-11にあります。	

	観点	内容の特色	具体例
構成・配列・分量		3年間を1冊に 3学年分の教材を1冊にまとめてあり、3年間の学びを見通した学習ができるとともに、前学年までの学習も含めて随時振り返ることができる。	p.(i)
	見通しと振り返りにより学びを深める構成となっている。	反復から活用へ 各学年に適宜「学習のまとめ」「生活に生かそう」という教材を配し、学習した内容の反復による定着と、学習場面・社会生活への活用が確かなものとなるよう配慮している。 学習のねらいの明確化 生徒が目標を意識して学べるよう、単元名、教材名、「目標」「振り返ろう」に学習のねらいを明示している。	第1学年 p.14,24,26,38,40 (他学年も同様) 第一単元 p.8,10,11 他 (他単元も同様)
	発達段階に即して配列している。	1事項1単元 学習指導要領の5つの指導事項に対してそれぞれ1単元を設定し、発達段階に即して系統的に学習できるようにしている。また、各単元の後には「生活に生かそう」があり、学習した内容を学習場面・社会生活で活用できるようにしている。	全体
	教材の分量・程度は適切である。	毛筆字形例、硬筆字形例 ●学習指導要領に示された指導事項を過不足なく扱っており、また、生徒にとって過度な負担とならない分量になっている。 ●書風は、中学生の発達段階に配慮し、国語科書写の学習のポイントを押さえやすいものとなっている。 コラム、補充的な字形例、資料編 ●コラムや補充的な字形例が適宜配されており、教室の実情に合わせて、再確認やさらなる向上を目指す指導ができる。 ●巻末に資料編があり、学習場面・社会生活での書字をサポートする例を豊富に示している。(手紙、伝票、願書、のし袋、ノート、原稿用紙の書き方、常用漢字表など)	全体 p.15,16,17,20,25,31,39,42,59,68,75,76, p.78 以降
内容	基礎基本を確実に習得できる。	●教科書巻頭の教材は、「自分がふだん書いている文字をよくしていく」「相手・目的意識をもって書く」など、書写学習の基本的な意義を生徒に理解させる内容となっている。 ●正しく整った読みやすい文字を書くための技能を、その基礎基本を捉えて学ぶことで、他の文字にも応用できる力がつくよう工夫している。 ●教材は、生徒への問いかけから始まっており、自身の知識や経験をもとに考えて主体的に学習できるよう工夫している。 ●硬筆書き込み欄を豊富に配し、自主的な学びを促すつくりになっている。	p.2,10,12,14,18,20,22,24 他
	硬筆と毛筆を有機的に連携させている。	●学習指導要領の毛筆指導の趣旨(硬筆による書写の能力の基礎を養う)を踏まえ、毛筆で書いて確かめた内容を硬筆で繰り返し書いて定着させるつくりとなっている。	p.33,36,38 他
	楷書から行書への移行がスムーズである。	●楷書から行書への移行期には、硬筆行書の詩を味わう素材を提示し、行書を日常的な書体として捉え、興味関心をもって行書学習をスタートさせられるよう工夫している。	p.28
	書写をコミュニケーションの立場で捉える教材がある。	●相手や目的を考えて書くことを学ぶ教材を提示している。 ●他教科や学校行事、生徒の身のまわりにある言葉などを題材とした言語活動や課題が配されており、学習した内容を学習場面・社会生活に生かすことができる。	p.26,40,60,62,65,66,70,72,74
体裁・造本	伝統的な言語文化に触れる教材がある。	●古典文学や古典書作品、文房四宝の製法などの工芸も取り上げ、伝統文化に触れられるよう配慮している。また、「書き初め」「年賀状」を日本の文化として捉えた教材がある。	p.39,68,85,89,109,113
	すべての生徒にとって学びやすい体裁である。	●カラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受けて、すべての生徒にとって学びやすいよう色使いに配慮している。	全体
		●特別支援教育の専門家による校閲を受けて、すべての生徒にとって学びやすいよう、学習の要点がひと目でわかるレイアウト、読みやすい文体や改行などの工夫をしている。	全体
		●「目標」「考えよう・話し合おう」「書いて確かめよう」「振り返ろう」をマークとして配し、また、考える時間と書く時間を紙面の背景色で分けることで、すべての生徒にとって学びのプロセスが直観的に捉えられるよう工夫している。	全体
		●毛筆字形例を左ページに配置しており、造本は中綴じである。毛筆で書くとき、教科書を折って机の左端に置いてでもページが浮かないように配慮している。	全体
		●文字の解説図版は、朱墨を使った2色使いや、筆の移動を示すマークなど、わかりやすい工夫している。	全体
	印刷が鮮明である。	●文字・図・写真などの印刷が鮮明でわかりやすい。 ●紙面は落ち着いた色合いを基調にしており、学びに集中しやすい。	全体
硬筆での書き込みに対応した用紙である。	●学習の利便性に配慮し、書き込み欄を豊富に配置している。用紙は、硬筆で書く、消すといった使用に対応できる紙質のものを採用している。	全体	
堅牢な造本である。	●針金で3箇所を綴じる造本で、長期の使用に耐えるよう配慮している。 ●針金綴じでの堅牢性に配慮したページ数となっている。 ●表紙はビニール加工を施し、墨を使っても汚れにくいよう配慮している。	全体	
環境に配慮した造本である。	●環境にやさしい用紙と植物油インキを用いている。	全体	

●編集委員

中刈 正堯

兵庫教育大学名誉教授

小西 憲一

香川大学

小林 比出代

信州大学

谷口 邦彦

安田女子大学

新田 直美

高水学園高水高等学校・同付属中学校

松本 仁志

広島大学

三浦 和尚

愛媛大学

株式会社 三省堂

●校閲

【特別支援教育】 笹森 洋樹 国立特別支援教育総合研究所

【カラーユニバーサルデザイン】 溝上 陽子 千葉大学

●発行者／図書の記号・番号

15 三省堂／書写 733

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14

☎03-3230-9411(編集)・9551(営業)

大阪支社 ☎06-6341-2177

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3

名古屋支社 ☎052-252-9211・9212

〒460-0008 名古屋市中区栄3-25-43
瑞穂ビル4F

九州支社 ☎092-531-1531・1532

〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1

札幌営業所 ☎011-616-8722

〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1
ラスコム15ビル3F

平成28年度版中学校国語教科書Webサイト

<http://tb.sanseido.co.jp/28/>

この内容解説資料に加え、編修趣意書なども公開しております。

平成28年度版『現代の国語』（15 三省堂／国語 729・829・929）

